



2014年4月入職

うすきひでたけ
薄 秀 健

これからも有言実行を貫き続ける

理想を目指して、努力を続ける

私が日頃心がけているのは、患者さまが「また来たい」と思える環境を作ることです。思いやりを持って接するのはもちろん、機械のメンテナンスや部品交換などにも手を抜くわけにはいきません。この機械を患者さまが使うと思えば、おのずと気が引き締まります。何か一つでも手抜かりがあれば、それが患者さまに良くない影響を与えてしまうかもしれない。外側に傷やへこみがあるだけでも直さなければいけないと感じています。

さらにレベルアップしていくためには、思いやりエキスパートになることが大きな糧になると前々から考えて、「絶対に合格する！」と周りに伝えていました。患者さまやスタッフはもちろん、友人にも話すことで、敢えて自分を追い込みました。プレッシャーがあったからこそ、選ばれたときは本当にうれしかったです。私が新人だった頃から知ってくれている患者さまも「成長したね」「やると思ってたよ」と喜んでくれました。

ただ、今はゴールだとは思っていません。今はあくまで通過点であり、今後は後輩たちの手本となりながら、さらに高みを目指していきたいと思っています。例えばアラームが鳴ったときも、誰かが対応してくれるのを待つのではなく、自分から率先して動く。そんな積極性を意識しながら、クリニック全体で患者さまが「また来たい」と思える環境を作りたいと思っています。

人生の師となった患者さまがいる



これまでのキャリアを振り返ってみると、多くの患者さまに支えられてきたのだと改めて思います。新人の頃、「穿刺、返血をさせていただき、ありがとうございました」と患者さまに言っていました。すると、ある患者さまから「もっと堂々としなさい。あなたはもう新人じゃないんだから」と言われ、ハッとしました。私は無意識に、まだ新人であるという考えに甘えていたのです。

次の日の去り際、「ありがとうございました」を「失礼いたします」へ変えました。その

患者さまからは「それでいいんだよ！ 適応力が高いね」と褒められ、その後も間違えたら叱られ、上手くできると褒められ、とても成長できました。この方がいなければ、今とは違う人間になっていたのではないかと思えるほど、私の人生に大きな影響を与えてくださいました。私にとっては、人生の師のような方です。患者さまから教えていただけることはとてもたくさんあります。これからもそのような経験を大切に、患者さま、お客さまに還元していけたらと思います。



お客さまへ、
安心と笑顔を
提供します。
薄 秀 健